

磐城時報

印刷所 磐城時報社
印刷部 加納活版所
印刷部 加納活版所
印刷部 加納活版所
印刷部 加納活版所

水害豫防組合解散か 新川改修縣費支辨決定し 存立目的達成の結果今日の總會で

平、内郷、飯野一町二ヶ村聯合十時縣知事以下多數の來賓を迎
水害豫防組合では今十七日午後五時盛大に舉行されるが、今年
一時から平町會議室に於いて定度の優等卒業生は
時總會を開催豫算並に決算を附
議するが、同組合は組合創立の
目的たる新川改修工事が縣費支
辨川に編入された結果その存立
目的達成により當然解散すべき
ものとして組合内には解散準備
が續けられてゐるので今總會に
於いては解散問題が正式に附議
されるものと豫想されてゐる。

警女優等生

大川セツ子
外十一名

湯本入山炭礦坑夫清田留吉(二
一は昨十五日正午頃新田坑々内
で入坑作業中の方坪大の落盤あり
縣立磐城高等女學校第二十二回
卒業證書授與式は明十八日午前
死を遂げた。

落盤惨死

入山坑夫一名

一家塵殺事件公判

傍聴席女性群占領

不良の妻とその實母兄等家族一に係る一家五名塵殺未遂事件の
家五名を塵殺せんとして赤井村第一回公判は今十七日午前十一
時農務局吉方床下にダイナマイ時から平支那公判廷に於いて中
トを裝填点火し豪然たる大爆音轟然たる大爆音轟然たる大爆音轟
に目的を達したものと認め潔よに開廷、清田檢察立つて起訴理
く平署に自首して出た情願の夫由並に犯罪事實を述べ直ちに事
好間村炭礦坑夫寺門二郎(一九)實審理に入つたが、本稿締切ま

同僚から 時計を盗み

平署に檢舉

當時好間村大字上好間字南町田
居住機械工小野五郎(二九)は去
十二月三日午後三時頃赤井村福
島炭礦第二坑の坑夫詰所に忍
でには決審に至らない。此の日
愛慾葛藤描いた大繪圖の真相を
知らんとして朝來からの多數の
傍聴者押寄せ、殊に平町婦人團
体みのり會々員約六十名、四倉
小學校女生徒百五十名が傍聴席
に詰詰めの盛況で、此等女性群
は公判廷の窓口にまで密集して
見た。

平町民から百圓

慘禍の久之濱町に義捐
今日から全區長が寄附募集

慘澹たる久之濱大海嘯慘禍の報
傳へられるや平町方面から續々
見舞人殺到してゐるが、平町で
は此の罹災者救済金を募集す
る事になり昨十六日協議の結果
さし當り平町から壹百圓を義捐
金として贈る事になり全町の區
長の手元に於いて直ちに寄附募
集に着手する事となつた。

二私立女校を町管移管

四倉町の懸案成るか

四倉町では多年町會の懸案とな
て居る私立磐城女子職業學校及
び大倉實業女學校の兩校を四月
一日より町管經營すべく計劃來
し町に移管經營すべく計劃來
二十五日の町會で正式決定の認
可申請する筈である、尙是の決
定を見て當分校舎は現在のま
ゝとして明年度の豫算で校舎を

今年度農事共進會 入賞者決定發表さる

平産看校

石城郡農會では各種農事獎勵の
爲め品評會、共進會等を各地に
開催して來たが昨八年度に於け
る郡内共進會の入賞者は次の如
く決定發表された。

堆肥
一等小野魯平(川部) 佐藤正
錦 二等山崎正(内郷) 黒木美
康(鹿島) 安島勝義(勿來) 三
藤田吉太郎(上野) 外十九名
▲大麥 (二毛作)
一等鈴木虎之助(大野) 二等赤
津長次郎(錦) 鈴木忠重(好間)
坂本金作(錦) 三等赤津廣(錦)
外十二名

▲菜種
一等無し、二等赤津一郎(錦)
高木彌一(好間) 三等平澤正
(赤井) 外十一名
▲紫雲英 (二毛作)
二等長久保徳次郎(勿來) 三
小野善太郎(大野) 外九名

▲植田署管内
牛馬商總會
植田警察署管内牛馬商組合では
十五日午前十時から植田警察署
に於いて定時總會を開催豫算を
の他を協議役員改選をする。

▲産婆科
猪狩チヨ、岩下ハル子、西牧
きやう、西村はる子、新妻富
美、星龍代子、細川カツイ、
大木ウメ子、大友ヨシ、大田
原シマ、小野マユ子、小野關
江、小貫千代、岡田美智、草
野鉄、渡邊リイ、加藤イタ子
横山キクエ、吉田サタ、田仲
ツギ、宗像タカ、工藤キミ、
山野邊猛、山下静枝、山崎ア
サ子、松崎ヨシ、船尾トキ、
小林キミ、釣ナカ子、片寄正
子、阿部チエ、阿部コト、相
川マユ子、坂本静衛、佐藤房

▲看護科
石井ヒサ子、五十嵐トキ、猪
猪安子、猪狩チヨ、西牧きや
う、西山フクコ、西村はる子
新妻ナツ、細川カツイ、沼田
ハル子、小野マユ子、小野關
江、小貫千代、大友マユ子、
大友ヨシ、荻野ソノ、岡田美
智、渡邊秀、渡邊リイ、藁谷
ヨシイ、加藤イタ子、吉田サ
田仲ツギ、田中くめ、武川徳
子、高木ミイ、長瀬マユ子、
長瀬キミヨ、中目安子、宗像
タカ、遠藤隆子、遠藤セキヨ
岩下ハル子、工藤キミ、草野
京子、山下静枝、山崎アサ子
松崎ヨシ、船尾トキ、小林キ
ミ子、小松タツ、釣ナカ子、
阿部チエ、阿部コト、相川
マユ子、坂本静衛、佐々木ミ
スエ、坂本静衛、佐々木ミヤ
佐藤房子、齋藤マユ子、北郷
美代子、宮本光枝、蓋原キイ
雪石明、澁井シゲ、船田光子
門馬サツ子、須藤タネ子、鈴
木ツヤ子、鈴木イサ、鈴木ゲ
ン。以上六十名

旅に出た淺草の 與太者御用

古風な啖呵で強請開業

昨十六日午後一時頃平町北目町れるや流石與太者ノ哥兄株も眞
佐藤茂方を訪れたモダンな洋服着になつて逃げ出した、檢舉の
妻の青年が遊人まがひの仁義を
切つて座り込み
「俺は淺草の主と言はれる
與太者ノ哥兄さんだが、と
まを喰つて旅に出たのだ、濟
まねえが草鞋錢として五圓は
つかり貸して呉れ……」
と古風な啖呵を切つて強請して
み本署に拘置の上警視廳に照會
るのを密行の平署員に發見さ中。

春はスポーツから シースントップを切つて

記者團一役場軍今日野球對戦

松ヶ岡、新川畔の櫻蕾も日毎に膨み増して春の序曲は今高らかに奏でられやうとしてゐる今日此の頃の平町は……

漫畫の巡查さん

○署内 K 生

矢張り吾々新任巡查の失敗するのは最初二三年中その原因は酒と女とお互に注意しようさうだからお互に注意しようB「同感だ、僕は酒も女も五月蠅い方ではないから心配はないが短氣だからとすると手の方先になつて困るんだ、でも警察官になつてから自重する様になつて苦學時代の様ぢやなくなつたから今後更に此短氣を抑制するに努めて一人前の警察官になりたと思ふ。昔自分の家の隙子の破れ目から隣家の隙子の破れかゝつてゐるのを見て隣の不精を笑つた者がある様に自分の事も見えないで他人の事を論評する様だが、今度僕の派し事は悪いが精神的に悪意はなかつたのだから君の事件も同様新年の安價な副産物程度のものだらう。兎角新年とか祭禮とかには氣が弛んで間違ひなど起かには氣が弛んで間違ひなど起し勝ちだから注意する様に起の受持の監督部長殿が屢々失敗談や経験談を話して下さるので僕には常に之を参考として一舉手一投足に注意を拂つて居る譯な

自信ある製品

ランドセル

80cmより
45cmまで
製皮惣

新學期の洋品は 中野洋品店 平電 35

此のシーズンに先駆して二月初旬から猛練習を開始してゐた記者團野球部は今日十七日午後二時から平商グラウンドに於いて新銳の町役場チームとシーズンのトップを切つて第一戦を執行する。

●有給外務員招聘

▼日掛は金十錢以上金五十錢迄あります
▼六ヶ月以上御掛けに成れば一ヶ月前分賃致します
▼一ヶ年御掛けに成れば年五分に相當する配當があります
▼明日の言はず今直ぐ御申込み下さい

商品日掛販賣の權威
平町南町一九
一徳合資會社平支店
出張所 四倉町本町九九
代理店 湯本町三函八八

電話開設
電話三番開設
坂本漁業事務所
四倉町新町

學校卒業賞品特賣

各學年卒業修期が近づきました。各種賞品類も全部荷揃致しました。御仕入の絶好期。卸賣特に御務め勉強致します。

景品賞品類
進物贈答品
恩賜賞與品
記念表彰品
各國産漆器

共榮漆器店
平町三丁目北裏通り
本年尋卒 仕着 小使月二圓
同高小卒 仕着 小使月二圓
外交員十八九才より三十才迄

店員募集
募集 本科五十名、師範科三十名、技藝高等科五十名
人員 専攻科二十名、技藝普通科五十名、専修科五十名

至急入用

外交員 二名
店員 一名
小川洋服店
平町田町
電話五七〇番

附設 平陽家政女學校
文部大臣認可 平陽女學校
附設 平陽家政女學校
福島縣平町
電話四四五番

入學願書提出三月三十一日迄、願書到着順に入學ヲ許ス
月謝低廉寄宿舎ノ便利、食費一日三十錢内外デアリマス

正月の縮みかきこのデーは多大の御引立に預り厚く御禮申上
又只今よりデーを初め何卒以上の御引立の程御願致升
(十八日マデ)

サッ	ミ	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五
ツツ	井	二	十	五

魚清食堂部
電話六三三

父寅松儀病氣ノ處藥石効ナク本日午前九時十八分死去致候間此段御通知申上候

追テ三月十九日午後二時大寶寺ニ於テ佛式ニヨリ葬儀相營申候

昭和九年三月十七日

男 織田豊太郎
親族總代 織田末松
友人總代 松村鐵郎

ランドセル

學生用 手提カバン
小學生用 クツ

・總皮ランドセル大型 ¥.75
・ 〃 〃 極大型 ¥.90
・ 牛皮特撰ランドセル ¥3.00

ツルヤ
平町電一四〇

ゼブラ自轉車 代理店
宮田自轉車

エビスヤ自轉車店

遞信省御用
電話六六四番

石炭 水野石炭商店
豆炭 水野石炭商店
コークス 水野石炭商店

平郵便局通り
電話二九九番